2011 年 3 月 4 日

各位

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城　裕一
コード番号：　4875　大証 Jasdaq
問合わせ先：　東京事務所代表　副社長
岡島　正恒
電話番号：　03-3519-5010
E-mail：　info@medicinova.com

中華人民共和国における合弁会社設立への基本合意に関するお知らせ

2011 年 3 月 3 日　米国　サンディエゴ発　-　メディシノバ（MediciNova, Inc.）（米国カリフォルニア州　サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO：岩城裕一）は、中華人民共和国において、浙江医药股份有限公司 Zhejiang MedicineCo., Ltd.との間で合弁会社を設立することについて本日基本合意に至りましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.　合弁会社設立の目的

当社の開発製品候補 MN-221 について、当社はかねてより、米国国内における開発・販売は自社で独自に行う計画であるのに対し、米国外での開発・販売網の整備その他について、提携先を探しておりました。
今回の合弁会社の設立により、当社の現金を使用することなく中華人民共和国国内における開発を進めることができるとともに、何百万人といわれる喘息の急性発作患者を抱える巨大な市場における MN-221 の上市、販売を目指します。

2.　合弁会社の概要

(1) 会社の形態
有限責任会社
(2) 事業の内容
当社の保有する製品候補 MN-221 の中華人民共和国国内における開発・製造及び販売並びにこれらに付随する事業（中国国家食品薬品監督管理庁に対する承認申請手続き等を含む）
(3) 出資予定額
14,290,000 元（177,553,250 円）
（注）当社に現金による負担はなく、MN-221 に関するライセンスの供与及び中華人民共和国内の営業権の供与など、技術・権利による出資となります。
(4) 所在地
中華人民共和国　杭州（暫定）
(5) 代表者
未定

3. 浙江医药股份有限公司の概要

(1) 商号
浙江医**药**股份有限公司
(2) 本店所在地
中華人民共和国浙江省
(3) 代表者
会長　李春波 Chunbo Li
(4) 事業の内容
製剤原料、最終製剤、食品などを取り扱う製薬､健康関連事業。
主力商品は、ビタミンカプセル、バンコマイシン塩酸塩（注射薬）など。
(5) 取引市場
上海株式市場　（証券コード 600216）
(6) 株主資本
3170.6 百万元（2010 年 6 月末現在）(39,394.7 百万円)
(7) 設立
1997 年
(8) 時価総額
14,694 百万元（2011 年 3 月 3 日現在）(182,578.7 百万円)
(9) 最近 3 年間の経営成績及び財務状態

2007 年 12 月期
（単位　百万元、一株あたりデータを除く）
株主資本:1,053.7(13,092.2 百万円)
総資産:2,827.1(35,126.7 百万円)
売上高:2,209(27,446.8 百万円)
営業利益;115.7(1,437.6 百万円)
当期利益:57(708.2 百万円)
一株当り当期純利益:0.13(1.62 円)
一株当り配当:0.03(0.37 円)

2008 年 12 月期
（単位　百万元、一株あたりデータを除く）
株主資本:1,812.3(22,517.8 百万円)
総資産:3,264.1(40,556.4 百万円)
売上高:3,761.0(46,730.4 百万円)
営業利益:1,131.8(14,062.6 百万円)
当期利益:977.3(12,143.0 百万円)
一株当り当期純利益:2.16(26.84 円)
一株当り配当:0.70(8.70 円)

2009 年 12 月期
（単位　百万元、一株あたりデータを除く）
株主資本:2,861.3(35,551.7 百万円)
総資産:3,879.6(48,204.0 百万円)
売上高:4,183.7(51,982.5 百万円)
営業利益:1,451.0(18,028.7 百万円)
当期利益:1,213.6(15,079.0 百万円)
一株当り当期純利益:2.70(33.55 円)
一株当り配当:0.80(9.94 円)

以上

【MN-221 とは】

MN-221 は、キッセイ薬品工業株式会社が創製した、高い選択性を有する β2 アドレナリン・レセプター作動薬であり、当社は同社より日本を除く全世界における MN-221 の開発および販売について独占的かつサブライセンス可能なライセンスを取得し、喘息の急性発作及び COPD を適応として開発を進めております。ライセンスにより取得したデータには、広範な前臨床試験データおよび臨床試験による安全性データが含まれており、生体内外における前臨床試験では、喘息の急性発作治療を目的とする他の β2 アドレナリン・レセプター作動薬に比してより高い選択性が確認されております。MN-221 の β1 アドレナリン・レセプター作動薬としての心臓に対する作用が限定的であることとともに、従来の選択性の低い β2 アドレナリン・レセプター作動薬の問題点である心臓への刺激作用が低減される可能性があると考えられています。また、当社は、静注方法による MN-221 の開発をしておりますが、この投与方法の優れた点は、発作によって狭められた気道を経由せず、有効濃度の薬剤を経静脈的に速やかに肺に届けることができることです。当社は、数本のフェーズ 1 及びフェーズ 2a の臨床試験を完了し、現在は、喘息の急性発作患者を対象に、フェーズ 2b 臨床試験を実施中です。喘息患者を対象としたすべての臨床試験において、MN-221 の投与を受けた患者に FEV_1 の改善が見られ、また、救急施設における喘息の急性発作患者を対象としたフェーズ 2a 臨床試験において、現在の標準療法に加えて投与したところ、入院率が 45%減少しました。当社は、さらに、安定期にある中等度から重度の COPD 患者を対象としたフェーズ 1b 臨床試験をさきごろ完了しましたが、同試験においても、FEV_1 の臨床的に有意な改善が認められ、安全性についても臨床的な有害事象はありませんでした。

【浙江医药股份有限公司 Zhejiang MedicineCo., Ltd.とは】

浙江医药股份有限公司 Zhejiang MedicineCo., Ltd.は、中華人民共和国有数の製薬企業であり、かつ、世界ではビタミンなどのサプリメントを供給している主要な企業です。中華人民共和国国内では、同社は、国内市場に向けて上市する新薬の研究開発に注力しています。同社の 2009 年の売上は、4,183.7 百万元(51,982.5 百万円)を計上しております。

さらに 2008 年 11 月には、中華人民共和国科学技術省より、新薬開発に関わる 6 大ビジネスインキュベーターのひとつに同社が指定されました。同社には、中華人民共和国内に現在興りつつある製薬業界のリーダーとなる準備がすでに整っております。

メディシノバについて

メディシノバ（Medicinova, Inc.）は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を主として米国で行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症をはじめとする神経疾患、神経因性疼痛、薬物依存、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁など、多様な疾患の治療を目的とする 6 つの臨床段階の化合物と、血栓症治療を目的とする 2 つの前臨床段階の化合物が揃っております。メディシノバは、当面その戦略として、喘息急性発作及び COPD の治療薬 MN-221 と多発性硬化症及びその他の中枢神経系疾患治療薬 MN-166/AV411 との 2 つの優先的開発化合物に資源を集中して開発を進めていく予定です。

MN-221 については、米国内で独自に開発を行い、一方 MN-166/AV411 については、開発に際し

て、戦略的な提携関係を構築することを考えております。また、他の製品候補につきましても、現金化を試みて参ります。弊社詳細につきましては http://www.medicinova.jp をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法（The Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素、FDA に対して書類を提出するタイミング、当社の戦略の失敗、第三者との提携構築、アヴィジェンとの合併により、イブジラストに関する開発プログラムを統合することにより期待される戦略的、財務的メリットを実現する可能性、イブジラストに関する開発プログラムを進めるための戦略的提携交渉、または、資金調達の可能性、知的財産権や契約上の権利をはじめとして、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまり、実際の結果または成り行きは、必ずしも予想通りにはならない可能性があることにご留意下さい。また当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。

（注）円換算の数値には、2011 年 2 月 28 日のレート 1 元＝12.425 円を使用しています。